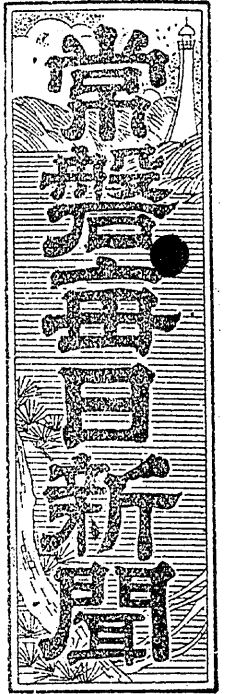


刊夕 日十月九



定額一圓五角... 発行所 常磐日新聞社

佛説 月姫 [六]

蝸庵生

あゝ 我らを守る神よ 我らを守る神よ 神はぬないのか...

ヤンドラの屍にタラ／＼と注ぐと、たちまち毒は消えた、胸のあたりが微かに温...

直つた、チャンドラは生きかへつた、神様ありがとう、私を守つて下さる神様...

磐城セメント會社特約店 久益屋商店

歯科口腔外科 レントゲン科 原齒科醫院

是非! 三井質店

根本婦人科醫院

開院 平町 磐城共濟病院

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

# 愈よ豫行演習

## 今晚六時から 突如空襲管制

### 飛行機は状況外として

#### 仙臺から飛來

平町は縣下を通じて施行される本十日の豫行演習に際して午後五時町内全地区に亘つて防護團各班を配備、同六時から直に非常燈火管制を實施、同六時四十分からは非常管制を解除して九時迄警戒管制に入ることになつた

#### 學校衛生

##### 研究會變更か

小野寺主事の退職で既報来る十月二十一日平第一校に開催される筈であつた學校衛生視察研究會は此程本縣學校衛生主事小野寺建太郎氏が突如家政上の一些事が禍して退職されたので豫定其他は變更があるのではないかと見られてゐる

#### 日立製作

##### 見習合格

過般來平職業紹介所の斡旋で平町第一小學校で施行された日立製作所見習工第一次採用試験の合格者は左の如く更に来る十四日午前九時

#### 辯護士の經驗ある

##### 平區の新任檢事

過般盛岡地方裁判所に榮轉された清田檢事の後任は昨日付一宮區檢事櫻井久次氏に決定された同氏は靜岡縣志太郡島田町の出身、大正九年十二月辯護士試験に合格五ヶ年間辯護士事務の實際に當り同十三年十二月檢

#### 執達吏の更迭

平區裁判所執達吏伊藤彌一氏は昨九日附郡山區裁判所に轉

#### 青年体育

##### 審査長決定

既報来る十三日開催される郡聯合青年團體育大會の役員會は昨九日午後三時半から警中會議室に開かれたが同大會の各審判長は左の如く決定された

#### 經濟更生出品

##### 石城

郡農會では来る廿七日から三日間若松市に縣經濟課並に縣經濟更生聯合會共同主催の農村更生資料展覽會に出品のため農山、漁村更生に關する圖表、ポスター、寫眞、副業製品類、社會事業施設その他を取纏め廿四日迄出品する

#### 記帳座談指導

##### 渡邊

村記帳座談會は十六日午後一時から同村小學校に開き柴田郡農會技手が指導する

#### 部長試験合格

平署熊田義春、菅家徳壽兩巡查は過般行はれた巡查部長採用試験に合格した

#### 四倉繭市況

四倉市場昨九日の取引は出廻り減少して十三貫、最高三圓七十九錢、最低三圓七十三錢、平均三圓七十六錢で引續き晩秋蠶がポツポツ出廻りを見る

#### 兒童思想研究

篠山平第一校長は来る十四日午

#### 歡交滿日

### 大野球戰

#### 奉天實業對 日立鑛山軍

期日 九月十八日午後二時  
場所 磐城中學球場  
主催 福島民報社  
後援 平町役場 磐陽野球審判協會

#### 會員券(内野)五十錢

##### 左記個所で發賣

△三丁目玉すし△四丁目マルトモ運動具店△田町大塚運動具店△大床理髮店△福島民報平支局△南町佐藤自動車工場△播磨小路魁文堂書店△仲町双葉活版所△紺屋町扇屋酒店

#### 磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は生命なり

#### 『健兒行』の感激

川崎生

斯ふして指導員の人々も身心共に苦難のどん底に追ひ込んで、努力して居るのであるから、實習生の吾々も『行』を積む上の覺悟が一層鞭撻され、益々眞剣味は鋭くなる。其處で毎日各班の成績に徴して授與される

#### 優勝旗の爭奪には、全員血眼になつて熱を上げる。

入所するに當つて十二三歳の子供に還れと申渡されてある通り、此の優勝旗は、受けたとなると六十に近い老年者迄、相恰を崩して大得意、聲を洩らして『彌榮』を叫ぶ、全く童心そのものである。

『童心』といひば僕の班では僕が一番年長なので『お

#### 父さんの尊稱を奉られた

が、夜の就寝時間になると『お父さんドロップ頂戴』と掌を重ねて寄つて來る、是れは勿論冗談半分だが、冗談でないのは毎日の『おやつ』だ。

午後三時頃になると『おやつ』が出る。是れが實習生には何よりの楽しみ、だからおやつに刻限が來ると、今日のおやつは品定

#### め、何が出るだらうが話題

の中心となつて、その時刻が待ち遠しい、西瓜とか、牛乳とか、ブツカキ氷とかその日に依つて種々違ふが僕の班は八名で、他の班に較べて一名多い、其處で問題になるのはおやつの分量だ、西瓜にしても成るべく大きいのでない、他班に較べて損だといふ、斯ふなる

と童心といふよりは、食慾

★……………(續)

# 賣られて大變と

## 平署に飛び込む

### 後追ひ駆けた母親が

#### 警官の前で娘を殴る

本十日午前十時頃平署へ無慈悲な親に買られるのを救つて下さいと若い女に男が付き添つて飛び込み、間もなく今度は女の母親が我儘な娘を歸宅する様説諭して下さいと馳け込み母親が女だてらに鐵拳を揮ふなど署員を面喰はせたが

#### 係官が 取調べて見る

と女は平町田町會津屋旅館方女中山形縣東置郡沖郷村生カメヨ三女鈴木光代(三〇)で、同女は十七才の春生母と繼父が共謀の上宮城縣石巻市住吉新地料亭ひさごこと佐藤善之助方に酌婦として賣り飛ばされ涙のうちに本年四月借金がなくなつた頃

#### 馴染に なつた宮城縣

杜鹿郡稻江村サンドペーバ一行商鈴木民治(三九)の情にほだされて忘れられず暗い繼父住む實家に歸るよりはと、去る五月一日歸仙した男の跡を追つて仙臺に行つた處が、男には妻サツキとの間に

#### 三人の 子供迄在ること

とが判明、一時は死ぬこと迄考へたが結局男と相談の上來平、前記會津屋旅館方

#### 傷病診療 無料従事

日赤支部が 訓盲院に救護所 日本赤十字本縣支部では十一、二兩日防犯演習に際して平町警署に救護班を設置、十一日は午前八時から午後十時迄、十二日は午前四時から正午迄傷病者並に一般の無料診療に従事する

#### 悪感情が爆発した

##### お祭り喧嘩

##### 原因は踊の邪魔 大部分釋放さる

(昨報)圓舞の夜の歡樂境が一瞬にして血なまぐさい兇器亂れ飛ぶ修羅の巷と化した高久村大字下高久地蔵尊のお祭り喧嘩は平署が關係者を續々本署に引致嚴重取調べを行つた結果、事件當時短刀を揮つて相手方を斬りまくつた豊間村大字薄磯部落の鈴木常五郎(二七)假名を留置したまゝとし其他の十數名の豊間側、高久側の

明日のフタオ 十一日 報 豫 氣 今晩も明日も南 東の風雲

#### 今晩の部

- 後六、〇〇物の初り「郵便切手」吉田一郎
- 後六、二五講演「我が國に於ける雑誌の發生」尾佐竹猛
- 後七、三〇講演と實驗「風の音を聴く」小谷寛之
- 大阪大工學部實驗室中繼
- 後八、一〇尺八「夕月」倉川藤山他
- 後八、二五義太夫「伊勢音頭戀寝刃」油屋の段
- 竹本文字太夫
- 後九、〇〇漫談「嘘」西村樂天
- 後九、三〇時報「ニュー」
- 明日の話題 氣象通報 番組豫告

#### 意地づくから

##### 倍額の費用で

##### 貸金請求訴訟を起す

僅か一圓五十銭の貸金に意地になつたか約倍額の費用をかけ請求訴訟を提起した男がある。双葉郡富岡町大字佛濱字釜田二八古市光太郎は同町大字小濱渡邊博に本年の元日に木白買入れた代金として五圓を貸付けたが内金三圓五十銭を入れたのみで残金は幾度督促しても支拂はないからと訴へに及んだものでこれが公判は來月一日平區裁判所で香西判事係りの下に開廷されるこの訴訟費用が印紙代二十錢、提出日當一圓、旅費及汽車賃一圓二十二錢、訴訟送達費用三十六錢、締めて二圓七十八錢也で勝つても損のゆく話であると

#### 明日の部

- 前六、三〇英語會話講座「レツドマン」堀英四郎
- 前七、〇一朝の修養「立正安國論」守屋貫教
- 前八、〇三美容講座「和服の着付けに就て」谷川春子
- 後〇、〇五空也念佛踊
- 福島縣河沼郡堂島村有志
- 後〇、三〇國民歌謡「乙女の唄 海の若人」關種子
- 大阪放送合唱團「桃谷中繼」
- 後二、〇〇母の時間「働く少年少女」豊原又男
- 後六、〇〇ユードモ演藝會
- 澤田和雄 常盤昌志 遠藤香子他
- 後六、二五講演「平田篤胤とその國學者として研究精神」岡澤鉦治
- 後七、三〇講演「滿洲移民に就て」永田拓務大臣
- 後八、〇〇室内樂「シューマンの絃樂四重奏曲作品四一」モギレフスキー
- クワラルテット
- 後八、二五落語「長屋のオロムビツク」桂小文治
- 後八、五〇竹曲 大宰府神社樂部
- 後九、〇〇長唄「紀文大盡」吉住小四郎他

#### 裁判一束

- △内郷村大字宮字峯根坑夫立花丑之(三三)同無職古川幸太郎(四七)字竹内日野佐藤今日(一六)高坂字立野探炭夫岩良洋(三三)町田炭礦機械夫佐藤繁三郎(三三)の五名は去る六日前記繁三郎方で骨牌賭博を開張今日平區野木判事から幸太郎、今日一は罰金七十圓、繁三郎は同四十圓、丑之、洋は同二十圓に各略式命令を以て處分されたが幸太郎、今日一の兩名は直に正式裁判を申立た
- △既報湯本町字八仙炭礦坑夫及川榮治(二九)假名が同僚の貯金通帳印鑑を窃取五圓を拂下げて着服した外數回に亘り約二十圓の現金泥を働いた窃盜私文書偽造行使詐欺事件の公判は今日午前十時から平區で野木判事係り氏家檢事立會の下に開廷犯罪事實明白の爲め直ちに檢事から懲役十ヶ月を求刑されたが判決言渡しは來る十二日午前九時
- △倉働 一六一四〇才迄 給七圓
- △賣子 三十才位 給二割五圓
- △出前持 二十三才迄 給五圓
- ◇ 職を求め方
- △トラック助手 二十三才 尋卒
- △同 十九才 高卒

#### 湯本の成田山

湯本町字三函鎮成田山秋の例祭は十二日執行餘興として盆踊りを催す

#### 家出女房搜索

仙臺市東三番町熊谷清記内妻早田たつ(三三)は去る一日夜夫の不在中八歳の子供を残して家出、捜査中の處同女は平町或は四倉町方面で旅館、待合等の仲働きをして居る様子あるため本十日平

日本家庭薬必備

皮膚化粧 傷に 化粧に

町 町 平

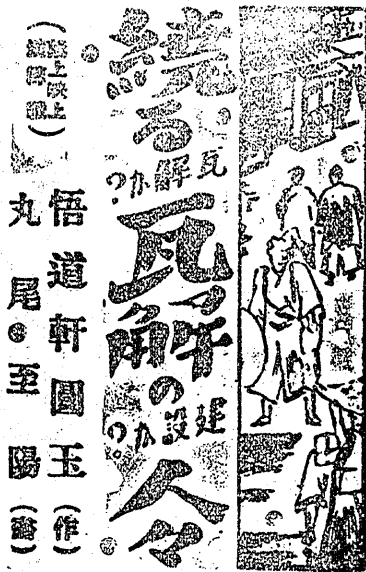
阿 部 藥 舖

提國旗

提燈

スガヤ

電九五



（以上）  
丸尾・至陽（書）  
悟道軒圓玉（作）

二一九 時期到来す

右内は帥の天爵の娘おさよに云ひよつたが勿ね付けられた、しかしこれで念を断つやうな人物ではない、右内はおもむろに目的を達する時機の来たるを待たつたところ、その時機が来ました。

小澤天爵はその當時の學者の通弊で金銭には無頓着四條通りの呉服商河内屋太兵衛と云ふ縁者より頼まれて借財の保証人になつたその金高は百兩、河内屋は商業上について失敗したため金を返すことが出来ない、それ故貸方は天爵のもとへ厳しく請求して果は町奉行に訴へるとまで申して来たこれには因りまして、何とか都合してこの義務を果さねばならぬと、知己のもとを駆け歩いたが、その頃の學者の多くは物質上に無慾な者が多い、只今のやうに印税を取つて成金ぶりを發揮するやうな伶俐者はございません、そこで先生は涙をのんで土蔵にある本を賣ることにした、かうなると本屋が足もとを見て

この唐本の二十一史などはお求めなさる時は百兩もいたしてございませうが、たゞ今ではまづ十兩位のもので、一杯なところが四十三歩でございませう



本を賣るには及びませぬ、さア本屋歸れ、何だ土蔵に一杯ある本を四十三兩二歩より買へぬとは不埒なことを申す奴だ、學者が本を手ばなすは我子に別れた悲しみと同じ苦痛をおぼえる、如何に利益のほか眼中ものなしと云ふ商人なればとて少しは人らしき心をもて

天「それは困つたな、是非百金入用であるが、それより買ふことは出来ぬかえ、さうとは残念至極」

右「イヤ百兩になるとも賣ることはならぬ、さつさと出て行け」  
本屋を追ひ拂ひ  
右「先生今日よりむかう三日の間にかならずあなたに百兩お渡し申します」  
天「イヤ友川、何うしてその金をこしらへるな、無理なことをしてはいかぬ」  
右「實家から参つて参ります」

天「それは有難いがわしの爲めにお前の兩親に心配をかけてはすまぬで」  
右「イエ御恩をうけたあなたのためにはいたしますることにしてその邊の御心配は御無用、早速親もとから取りよせませう」  
とこれから右内は晝夜兼行で伊賀の上野にもどり、先生の難儀を救ふためと親父を説きつけ百兩持つて三日に戻つて来た、さア先生お使ひ下さいとそれを差出す、天爵は涙をこぼして喜び

み入ります、百兩ばかりは金とはいへませぬ、手前の親父の手もとは何時でも三百金や五百金はございませぬ、折々なぐさみに雀の足に小判を縛り付けて飛ばします、その時家中の者はその雀をとらへやうとして騒ぎまはりますが、知らぬ者が聞くと嘘のやうに思ひませう」  
人のいふ天爵はびつくりして

天「お前の恩儀は忘れぬ、よくお前がたよりも友川に禮をいへ、俺の名義もこれにてけがさすにすんだ」  
天爵の細君と娘もこの厚意を謝しました、右内はニコリ笑ひ

右「イヤその御禮ではいた

護れ//大空  
防空//防空  
眞の防空は……

優秀なる飛行機の製作にありませう  
優秀なる飛行機の製作は……  
模型飛行機の研究から！  
作りませう模型飛行機を！  
國の護りの研究に！

模型飛行機材料なら何でも揃つて居ります。  
小學生の手工や研究用として説明書付一組金十銭のセットも出来て居ります。  
平驛前 いづみや玩具店

造花 佛具  
橋本屋  
平電 六一 川三 町三  
造花 佛具

専門  
産婦人科  
花柳病科  
入院隨意  
井坂醫院  
平町田町 電話五五九番

レストラン  
平厩館  
624